

もりおがみだにきようかい
財団法人 一志町ふれあいの森林狼谷協会
(保安林指定み第185号)

会

報

第6号

平成9年11月1日
毎年1回11月発行
発行所 一志郡一志町大字波瀬



お参り下さい

狼谷大黒天

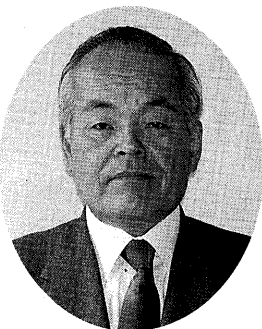
秋風が肌に心よくふれるよく晴れた日、鎌を片手に、草刈り旁方、狼谷大黒天に参りました。見上げる、大黒天の顔を拝し、ホッとした安心感が身体に伝わる。総べてを許し温く抱擁を受ける様で、不思議な感じ。まさに、親が子供をいたわる様に思えてならない。人間一人で生きてゆくことはできない。ましてや、高齢社会の今日、家族は勿論、地域の人々と助け合い、励まし合う素直な心を養うことの大切さをつくづくと思う。周囲に生い繁る杉の木立は姿勢よく伸び、自分の背すじも伸ばしたくなる。

御蔭で私たちは自由な信仰に日々の暮らしを求めることができる。仏様であれ神様であれありがたいと思う自身の心が大切である一寸遠いので、足が運びにくいのですが、舗装された波瀬の松山林道を楽しみながら、一度お参り下さい。
(東山・西廣 茂・記)

●例祭は、正月元旦、十一月二十三日(勤労感謝の日)の年二回、月参日は、毎月二日です。

ごあいさつ

理事長 寺田 治



会報第六号の発行に当りましてごあいさつ申し上げます。

「一志町ふれあいの森林狼谷協会」の運営につきましては平素いろいろのご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに平成八年度の事業、並びに決算の状況をご報告申し上げます。平成八年度は任期満了に伴う役員の改選が行われ、新しい執行体制のもと運営を致して参りました。事業の概要につきましては、前回第五号でご報告申し上げたところでございますので、省略させていただきます。決算の状況ですが、収入におきましてはご承知

のように低金利のため財産運用が思うに任せず、三億円の財産に対する当期受取利息が一八〇万円と減に淋しい限りでございます。幸い前期からの繰越金によってどうにか賄っている状況であります。当期支出額におきましては、総額約八〇〇万円のうち約五五〇万円が一志町内の組織、団体等に対する活動助成金でありまして、一志町農協当時の水準を何とか維持していかなければと大へん苦慮致しております。

何れに致しましても、財団法人としての森林の維持管理と一志町住民の皆さんの福祉の向上に、ささやかながらもお役に立てればと念じつつ、今後も当協会の運営に努力を致す所存でございますので、何卒皆さん方の格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。ごあいさつと致します。

(財)一志町ふれあいの森林狼谷協会の役員一覧

(平成八年六月一日就任、任期三カ年)

理事長	寺田 治	副理事長	篠田 弘己	理事	瀧川 清	庄山 郁三	野末 巧	竹内 道昭	青木 克己	前山 禮三	辻原 正一	西廣 茂	井田 憲二	中野 五男	奥田 孝夫	事務局長	田吉 中井 竹健 次治
	(學識 經驗者)	(三重中央農協理事)	(三重中央農協理事)	(三重中央農協理事)	(三重中央農協理事)	(三重中央農協理事)	(三重中央農協理事)	(三重中央農協理事)	(三重中央農協理事)	(三重中央農協理事)	(一志 町長)	(中勢森林組合理事)	(學識 經驗者)	(學識 經驗者)	(學識 經驗者)	會計主任	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	
	池山 克己	稲垣 守	茂木 勇	松岡 伸一	田中 次	北出 一雄	飯田 利典	伊藤 典明	稲垣 典久	田中 久志	平山 公三	尾山 哲郎	藤岡 修	林田 克明	前田 孝幸	大倉 音彦	伊藤 邦明

ふれあいの森協会 (略称)

設立の趣旨

長期にわたる木材価格の低迷、山林労働者の高齢化、林業経営諸経費の増加などによる林業生産活動の停滞に加え、大都市集中型の経済成長に伴う山村の過疎化の進行等の要因によって、森林の荒廃は限りなく進みつつある。それに伴い、山林への関心も希薄化し、人々の心は、自分たちの生活が、森林の恩恵を受けて営まれていることすら忘れ去ろうとしている。

そんな中、当時の一志町農協では、農協創立二十周年記念事業の一環として昭和五十九年十月、一志郡一志町大字波瀬字松山に、一・七ヘクタールの杉、檜の二十年生の山林を取得した。その趣旨は、森林は水の資源であり、水は農の源、農は命の源という思想を基本に、地域の組合員が共有の山林を保有し、それに接することによって山を

愛することと育てることを目的としたものである。

この大いなる目的で取得された山林を、一志町農協から寄付を受けるにあたり、維持管理に つとめ、その趣旨をより具体化する手段として、財団法人「一志町ふれあいの森林狼谷協会」を設立したものである。

この基金による果実をもとに、森林を中心として、「森林(もり)と水と人間(ひと)とのふれあい」「森林(もり)と水と生活・産業(くらし)」に関する活動への助成」「森林(もり)と水の文化の伝承」を三本柱として、関係機関の協力を得て、公共の福祉に資する活動の展開を図るものである。

あわせて地域の発展と、活力ある農山村づくりを進めるものである。

なお協会の運営については、財団法人一志町ふれあいの森林狼谷協会寄付行為(運営規則)

により、県の指導監督のもとに運営されるものである。

県の認可及び指定

平成元年一月二十日
財団法人一志町ふれあいの森林狼谷協会
設立認可、
(三重県指令
農政第一〇八
号三重県知事、
民法第三十四
条)

平成元年

三月二十二日
三重県より保
安林の指定を
受く、(三重
県告示第一八
五号、森林法
第三十三条第
三項)

森林の所在地

面積等

一志町大字波瀬
字松山七七六一
番地
山林……

「狼谷大黒天」

建立の由来

財団法人一志町ふれあいの森林狼谷協会は、一志町農業協同組合が、創立二十周年記念事業の一環として昭和五十九年十月に取得した約一・七ヘクタールの杉、檜の二十年生山林を、組合員の心の拠り所として、これを後世に残すため平成元年一月に設立した協会である。

山林は水の源であり、水は農の源、農は命の源という思想を基本に、緑美しき狼谷の聖域に開運の神、福の神、生産の神としての農山神である「大黒天」を安置し、心の安らぎを求め、老若男女を問わず広く愛林の心を培う場となることを祈るものである。

一木一草に神宿る
人間は自然との共生をめざす

平成8年度収支決算書

（平成8年4月1日～平成9年3月31日）

I. 収入の部

(単位：円)

科 目	平成8年度予算額	平成8年度決算額	説 明
1. 基本財産運用収入	1,721,000	1,761,682	
基本財産利息収入	(1,721,000)	(1,761,682)	定期貯金利息
2. 運用財産運用収入	41,000	41,340	
運用財産利息収入	(41,000)	(41,340)	普通・定期貯金利息
3. そ の 他	20,000	19,303	賽銭
当期収入合計(A)	1,782,000	1,822,325	前年度7,057,582
前期繰越額	13,372,747	13,372,747	
収入合計(B)	15,154,747	15,195,072	

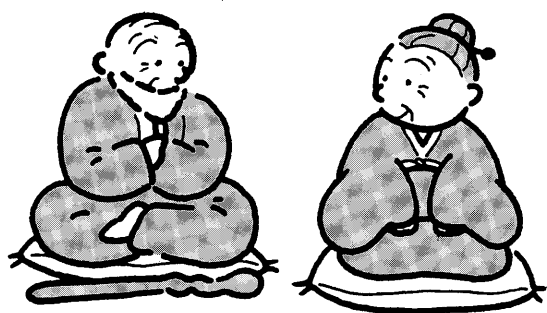
II. 支出の部

科 目	平成8年度予算額	平成8年度決算額	説 明
1. 事業費	8,552,000	7,960,397	
活動助成金	(5,820,000)	(5,484,326)	農協実行組合他
保全管理費	(500,000)	(305,990)	
租 税 公 課	(50,000)	(20,000)	法人県民税
什 器 備 品 費	(10,000)	(20,081)	
印 刷 製 本 費	(154,000)	(154,500)	会報第5号
駐 車 場 増 設 費	(2,000,000)	(1,957,000)	
保 險 料	(18,000)	(18,500)	
2. 管 理 費	960,000	1,036,292	
役 員 報 酬	(420,000)	(435,000)	役員35名分
給 料 手 当	(90,000)	(90,000)	事務局3名
会 議 費	(400,000)	(409,631)	理事会、等
雑 費	(50,000)	(101,661)	
当期支出合計(C)	9,512,000	8,996,689	前年度7,587,734
当期収支差額 (D) = (A - C)	-7,730,000	-7,174,364	
次期繰越額 (E) = (B - C)	5,642,747	6,198,383	

平成8年度事業報告書

（平成8年4月1日～平成9年3月31日）

年 月 日	事 業 内 容	
8.4.10(水)	協会概要説明会 ※一志町支店長会議	理事長・JA新任支店長、他
25(木)	駐車場増設現場説明会 ※現場	理事長・局長・松岡土木
30(火)	大黒天境内清掃	理事長・局長
5.18(土)	駐車場増設工事中間状況写真撮影	局長
20(月)	駐車場増設工事中間状況工事現場確認	局長
21(火)	駐車場増設工事中間状況工事現場確認	局長
29(水)	第16・17回理事会・役員改選	JA三重中央波瀬支店
30(木)	駐車場増設工事完成検査立会い	局長
6.4(火)	波瀬老人会役員・大黒天参拝と草刈清掃奉仕	中野会長他13名
14(金)	執行部会議 ※8年度事業実施について	JA三重中央波瀬支店
7.6(土)	評議員会議 ※会議及び草刈り作業	理事長・副理事長、他
29(月)	第18回理事会※福祉協議会への車輛寄贈議決 優良山林視察、美杉村 山内忠雄氏所有林	JA三重中央八幡支店
30(火)	大黒天境内清掃	理事長・局長
8.31(土)	大黒天境内清掃	新旧正副理事長、他
9.3(火)	大黒天駐車場、車止め移設工事	三協建設・局長
24(火)	一志町社会福祉協議会へ福祉移送車輛贈呈式	正副理事長・局長
28(土)	大黒天境内草刈り作業	正副理事長局長、他
10.28(月)	執行部会議 ※8年度下期事業実施について	JA三重中央波瀬支店
31(木)	大黒天境内清掃	理事長・局長
11.5(火)	第19回理事会 下半期事業について	JA三重中央波瀬支店
10(日)	一志町ふれあい産業まつりに協力	JAふれあいセンター
12(火)	執行部会議 会報（第5号）の発行について	JA三重中央本店
18(月)	秋季大祭準備打合せ会	JA三重中央本店
22(金)	秋季大祭準備	正副理事長局長、他
22(金)	会報（第5号）発行	
23(祝)	秋季大祭齋行	参拝者40名
12.9(月)	元旦かがり火用木材の搬出	2名
12.31(火)	元旦祭準備	6名
9.1.1(水)	元旦祭	約60名参拝
4(土)	◇撤去作業	局長
31(金)	大黒天境内清掃	理事長・局長
2.28(金)	大黒天境内清掃	局長
3.31(月)	大黒天境内清掃・林内巡視	正副理事長・局長
4月～9/3月	年金友の会会員、80歳慶祝訪問 52名	理事長・JA支店長



年金友の会 「長寿者慶祝」

事業のお知らせ

この事業は、昭和五十八年に一志町農協が年金友の会を設立以来続けられています。

農協へ年金をお振込の方で八十歳の誕生日を迎えられます会員さんは、毎年六十名ほどの方々です。このお誕生日には、農協の各支店長に案内され、当協会の理事長が直接お目にかかり、お祝いいたします。

年金友の会会員

長寿慶祝規程

財一志町

ふれあいの森林

狼谷協会

一、趣旨

高齢化社会の進展に即応して会員の長寿をお祝いするとともに、その家族の敬老心を讃え、健康的な家庭を祈念してお祝いを贈るものとする。

二、対象者

三重中央農協年会友の会一志支部所属の会員（町内在住者）で、毎年八〇才に到達した方。

三、贈呈内容

金一封（家族）

記念品（本人）

四、贈呈時期および方法

満八〇才の誕生日に直接家庭を訪問し祝う。

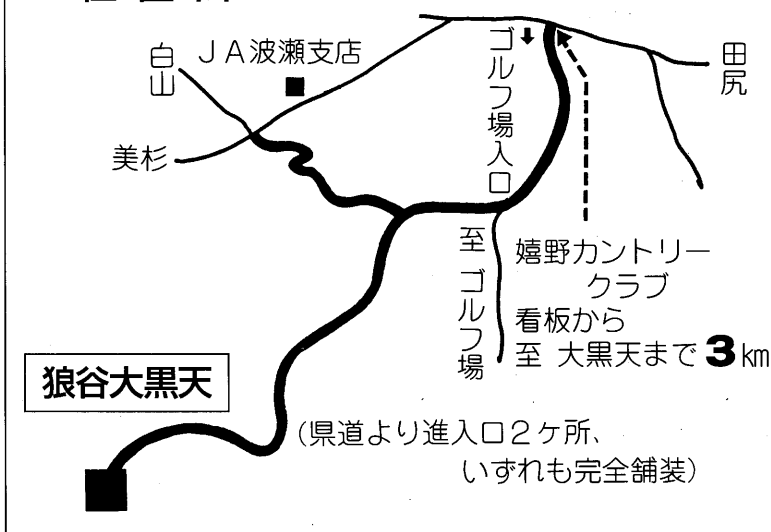
五、実施時期

平成元年二月一日

（この規程に基づいて毎年お祝をしています。）

一志町ふれあいの森林狼谷

位置図



お願い

年金の受け取りは、近くて便利な農協にご指定ください。指定された方は、自動的に年金友の会に加入されることとなります。